

SCUBAPRO コンパス取扱説明書

1. 解説

SCUBAPRO コンパスは、長期間にわたり正確で信頼できる性能を確保すべく高い基準で企画・製造されています。オイル充填方式で周りの環境から隔絶されているため、圧力により影響を受けることは事実上ありません。いかなる高感度のコンパスでも同じですが、SCUBAPRO コンパスも金属の影響により、誤差が生じることがあります。従って、コンパスを独立型リスト・マウントで使用する場合は、単独で装着し、他の金属計器（時計、コンピューター、深度計）はもう片方の腕に付けて下さい。コンパスが SCUBAPRO のコンソールやライティング・スレートに入れて使用する場合は、他の機器による影響を受けないような配慮がコンソールやスレートの開発時点でなされています。

2. FS-1・FS-2 コンパス

FS-1 製品番号 05.016.001（北半球）、05.016.002（南半球）

FS-2 製品番号 05.017.001（全世界使用可能）

FS-1/FS-2 コンパスは上からでも横からでも読めます。コース設定ベゼルは上読み（＝トップ・リーディング）目標ライン設定のために使われます。出来る限り大きな桁数確保のため（見易さを最大にするため）最後のゼロはベゼル本体の数字から取り除いています。よって、” 3 ” は ” 3 0 ”、” 2 7 ” は ” 2 7 0 ” を表しています。数字は 3 0 度毎に表し、小さなラインは 1 0 度置きに引かれています。ベゼルの回転させると、クリック音が聞こえますが、毎クリック音毎に 5 度回転します。

コンパスの磁場感知部（フローティング・エレメント＝浮遊部）は端の部分がカーブしており、これにより上読み・横読みが可能となっています。この部分の数字は省略なしで、3 0 度毎になっており、小さなラインは 1 0 度毎に刻まれています。ある程度自由な動きが出来うように、コンパスは最大 1 5 度まで傾けても使用可能となっています。

コンパスを使う： トップリーディング（上読み）

先ずコンパスの向きをとる： ラバーライン（基線）を目標ポイントに向け浮遊部が動きを止めて北を指すまで待つ。次に、ベゼルの浮遊部にピッタリと合わせます。遊泳開始と共に、ラバーラインが遊泳方向と一直線になるよう、フローティング・エレメントとベゼルの合わせながら、コンパスをしっかりと持ちます。

コンパスを使う： サイドリーディング（横読み）

目標ポイントにラバーラインを向けながらコンパスの向きを取り、動きが停止した時点でフローティングエレメント上の数字を読みます。ラバーラインは、より正確に読めるように、サイドウィンドーにまで伸びています。遊泳開始後速やかに、方向を指し示す数字とラバーラインを一直線に保ちながら、進行方向がラバーラインと一線になる様、コンパスはしっかりと持ちます。